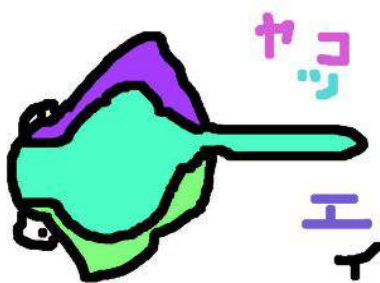


行 HSK 毎月十二回(一・三・五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発  
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

# HSK

## 遊 ぼう よ

No. 72



カット(福村宣博 & 中崎拓大)

## 自立生活支援センター富山の1年を振り返って

理事長 平井誠一

まず初めに、ここ数年の間に1970年代から障害者運動に立ち上がってきた障害当事者の仲間が相次いで亡くられました。障害者が自ら差別と闘いながら、制度政策・権利擁護の活動を続けて、切り拓いて来られたことに対し敬意を表したいと思います。

さて、2000年に入り障害者福祉は大きく変わってきました。2年前から計画相談支援が始まりました。介護保険でいうケアマネージャーさんみたいな感じのものが導入されました。福祉サービスを受けるすべての障害者の人たちが「サービス等利用計画・障害児支援利用計画」を作成し、市役所に提出することになります。

### <親元を離れて地域での生活者に>

そのような中で、この1年間を振り返って思い出に残っている取り組みは、実家から出て一人暮らしを始められた全介助のいる方のことです。ケアプランはご自分で管理をされています。ヘルパー事業所さんや生活介護の事業所さんには、ご自分でメールを使い連絡を取られてキャンセル等の調整をおこなわれています。今まで一人暮らしをされた方では、すごく出来た人です。

### <様々な障害を待った方々との出会い>

もう1つは精神障害や難病の方が多く来られるようになったことです。私たちはこれまで身体障害の人たちとの関わりが多かったこともあり、初めて聞く障害名に困惑しながら関わらせて頂いています。また障害から来る二次的な病気によって、例えば嚥下による誤嚥性肺炎や長い間の服薬により骨がもろくなり歩行ができなくなる等、最初は身体障害のみや知的障害のみであった人がやがて障害が重複していくようになるケースが増えているように思います。そういう意味では単なる福祉サービスの利用だけにとどまらず、訪問看護、訪問リハビリ等を利用するための調整も必要になってきたり、入退院を繰り返す方の場合は病院とヘルパー事業所、訪問看護、訪問リハビリ等の事業所を含めたカンファレンスが必要になってくるケースも増加しています。

### <様々な後見人制度の活用>

最近、後見人制度を利用なさっておられる障害者の方が増えてきています。

家族のいない方、家族はあるけれど後見人さんがついている方、きょうだいはいるけれど別々に生活しておられて後見人さんを付けておられる方など様々です。後見人さんを付けられている方の課題としては、書類作成上のプロセスと実際の生活場面での決定権等がそれぞれのケースによって違っているように思えます。

#### <高齢者の親に中高年の障害者世帯の課題>

最近、よくある相談に親御さんが高齢化し、障害をもつご本人も中高年になる中で、家族全員が介護が必要というケースが出てきています。親御さんや家族の方が障害者の息子や娘またはきょうだいを抱え込んで一緒に生活している方たちがいますが、ヘルパーさん等の福祉サービスが家の中に入って来られることを拒まれるケースも多々あります。

私たちから見ると、ヘルパーさんを入れた方がよいのではないかと思います。親御さんや家族の方からすると他人が家に入ることに對しての抵抗感があるようです。ケースによっては、地域包括支援センターや保健福祉センターなどと連絡を取り合いながら、そうした家庭の支援をどのような形で行っていくかということを取り組んでいく方向になってきています。

#### <1年を振り返って>

計画相談支援がはじまって2年が経ちました。福祉サービスの利用にあたってのプランを作成することが目的ではありますが、単にプランを作成するだけでは終わらないケースが多くなってきています。

今、私たちに問われていることは、障害に対してより専門的な知識を求められたり、一相談事業所だけで解決できない場面が多くなってきて、いろんな関係機関とのチームワークによる取り組みが必要になってきているように思います。

相談支援事業所がどこまで仕事の範囲として考えればいいのか、限りなくいろんなことに精通していないとやれなくなってくるのではないかと不安を持っています。私自身も障害を持っているので、いろんな方の相談を受けながら、ある意味、自分の将来の姿を見ているような気がします。自分だったらどうしたいのか。自分はどう生きたいのか。そんなことをいろんな人に関わりながら考えるようになってきています。でも、私が若い頃に関わってきた障害者運動における障害者差別からの自立と解放という課題と少しかけ離れているような気がします。障害者の人権の確立と国連の障害者権利条約を考えた時に、私たち障害当事者がどういう支援が必要なのかについてもっと具体的に考えていく必要があるのではないかと考えています。

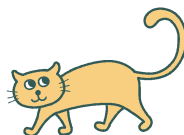
自立生活支援センター富山の主な動き



〈この間の活動報告〉

11月20日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
11月21日(木)	ケア会議開催	リーぶる事務所
11月24日(日)	送迎	富山市内
11月26日(火)	送迎	富山市内
11月27日(水)	第12回講師派遣「相談支援従事者研修現任者研修」	
		富山県民会館
11月28日(木)	専門ワーキング出席	障害者プラザ
11月29日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
12月 1日(日)	送迎	富山市内
12月 3日(火)	送迎	富山市内
12月 4日(水)	送迎	富山市内
12月 4日(水)	第13回講師派遣「第25回地域リハビリテーションフォーラム」	
		サンシップとやま
12月 5日(木)	事務局会議	リーぶる事務所
12月 5日(木)		
~18日(水)	自立生活体験	自立生活体験室
12月 8日(日)	送迎	富山市内
12月11日(水)	送迎	富山市内
12月13日(金)	送迎	富山市内
12月14日(土)	送迎	富山市内
12月16日(月)	送迎	富山市内
12月17日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
12月17日(火)	富山市相談支援事業者研修会出席	障害者プラザ
12月18日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
12月19日(木)	ケア会議開催	リーぶる事務所
12月20日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
12月25日(水)	相談支援ワーキング出席	障害者プラザ
12月28日(土)	送迎	富山市内
1月 4日(土)	送迎	富山市内
1月 7日(火)	送迎	富山市内
1月 9日(木)	ケア会議開催	富山市総合社会福祉センター
1月10日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
1月11日(土)	送迎	富山市内

1月14日(火)	送迎	富山市内
1月15日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
1月16日(木)	専門ワーキング出席	障害者プラザ
1月17日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
1月17日(金)	第2回インターンシップ推進委員会出席	富山総合支援学校
1月18日(土)	送迎	富山市内
1月20日(月)	送迎	富山市内
1月21日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
1月24日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
1月28日(火)	カンファレンス参加	富山県立中央病院
2月 1日(土)	送迎	富山市内
2月 2日(日)	送迎	富山市内
2月 4日(火)	送迎	富山市内
2月 4日(火)	相談支援ワーキング出席	障害者プラザ
2月 4日(火)	専門ワーキング出席	障害者プラザ
2月 5日(水)	ケア会議開催	リーぶる事務所
2月 6日(木)	ケア会議開催	自立生活体験室
2月 6日(木)	高志支援学校評議委員会出席	高志支援学校
2月 7日(金)	第14回講師派遣「富山県障害者虐待防止・権利擁護研修会」	サンシップとやま
2月 8日(土)	ケア会議開催	基幹相談室
2月 8日(土)	送迎	富山市内
2月12日(水)	第15回講師派遣「平成25年度地域生活支援研修会」	
	講演「重度障がい者の地域での暮らし方」	魚津市障害者交流センター
2月13日(木)	第8回富山県相談支援従事者研修打合せ出席	
2月14日(金)	自立支援協議会出席	富山市役所
2月15日(土)	送迎	富山市内



# 今年も餅つきをやりました!



毎年、恒例の「餅つき大会」ですが、今年ももちつき名人と共に開催しました。どんな餅を食いたいのか、準備は何をしたらいいか話し合い、スーパーで何を買ってくればいいのかを決めます。そして買い出しに行ってきます。

前日から水に浸しておいた餅米を蒸して、いよいよ餅つき本番!。順番に杵を持って餅つきをします。「よいしょ!」とかけ声をかける人、出来たての餅をちぎって、あんこやきな粉をつける人など、それぞれ自分のできることをやります。



赤米や玄米などのお餅もつきました。食べきれない分は持ち帰ってもらいました。



皆様お住まいの地域は少しずつ春らしくなってきたのでしょうか。年度末を迎えて、慌ただしい日々を送っていますが、嬉しいこともありました。  
二十四時間テレビの福祉車両を贈呈していただけることとなり、近々、北日本放送様で贈呈式が行われます。新しい車両であちこちを走り回る日も間近です。街で見かけたらお声をおかけください。

(文責・田中)

## \* 編集後記 \*

編集人：特定非営利活動法人  
自立生活支援センター一富山  
連絡先：〒930-0024  
富山市新川原町5-9  
レジデンス新川原 1 F  
tel 076-444-3753  
fax 076-407-5557  
郵便振替：00700-5-47253  
自立生活支援センター一富山  
発行人：北陸障害者定期刊行物協会  
富山市今泉312番地  
定 価：90円  
年間購読料：360円